

## 【JA呉自己改革取組宣言】

# これまでも、これからも、地域とともに JA呉は総合事業を展開します。

○農業者の所得増大、農業生産の拡大、地域の活性化に取り組めます。  
このため、協同組合の原点に立ち、組合員の皆さんと話し合いを深めます。  
そして「総合事業だからこそ」の強みを活かし、組合員・地域にとってなくてはならない組織であり続けます。

協同組合とは、組合員の一人ひとりが力をあわせ、みんなの願いをかなえていく組織であり、協同の精神である相互扶助にもとづく「共助」の結合体ともいえる組織です。

そして、JAは農業者が組織する協同組合です。農業者の営農と生活を支えるため、様々な事業を総合的に展開しています。農業者の所得向上や地域農業の振興を目的に、農産物の販売や、信用事業(JAバンク)、共済事業(JA共済)などの様々な事業を通じて総合的に結びつけ、地域づくりに取り組んでいます。

○JAは、これからも総合事業を通じて、組合員・地域の皆さまとともに地域の農業やくらしを守り、協同の精神を次代につなげるための活動に取り組めます。

具体的には、営農振興計画・中期事業計画や自己改革工程表をご覧ください。主な取組を次の3点により紹介します。

### 1 地域密着型農業融資の取組

農業融資のサポート、担い手農業者への訪問活動を行うため、連合会・信用部・営農担当部署と連携して、農業金融情報を提供し必要とする農業資金の相談を行っています。(平成31年3月31日現在 農業資金残高161百万円)

### 2 魅力ある産地づくりへの対策費

地域農業の振興にかかる費用に充てるため平成29年度末に「農業振興積立金」を設定しました。(農業振興積立金 積立目標額1億円)

### 3 担い手訪問活動

農業者の所得増大、農業生産の拡大、地域の活性化を進めて行く為には、組合員との話し合いや訪問活動を通じて組合員の声を聴くことが重要で必要不可欠な事だと認識しています。そこで、JA呉では、「組合員との徹底した話し合い実践運動」を展開しています。

(平成30年度担い手訪問回数4,438回)